



# 有馬

第555号

令和6年4月8日  
中央区立有馬小学校  
TEL 3 6 6 6 - 5 7 0 2  
FAX 3 6 6 8 - 2 3 6 4

## 「有馬小学校でよかった！」と思える学校に（Ver.令和6年度）

校長 小林 一輝

令和6年度、中央区立有馬小学校の校長 小林一輝（こばやしかずき）です。有馬小学校3年目となりました。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

今年度、新1年生118名を迎え、全校児童691名で有馬小学校の教育活動がスタートしました。今年度も学校教育活動の根幹である「児童を中心にして」を合言葉に、全教職員が力を合わせて、児童も保護者も教職員も地域の方も笑顔いっぱいとなる学校を創っていきたくと思っています。

さて、3月25日（令和5年度修了式の日）有馬小学校、毎年の風物詩になりつつある朝から玄関に響く「おはようございます！」というあいさつ運動の声。その正体は、22日に卒業式を終わらせたばかりの6年生（卒業生）数名でした。その様子を見て、登校してくる下級生たちが「あっ、6年生だ！」と笑顔で手を振って「おはようございます」とあいさつしていました。その姿が、とても素敵で、とても心が温かくなりました。早速、修了式での校長からの話で「あんな素敵な6年生になれたら良いですね」と1年生～5年生の児童に話をしました。卒業生から下級生への「有馬小を頼むよ」のメッセージを受け取った在校生が、どのように成長してくれるのか、今から楽しみです。

毎年の4月号に書かせていただいている「有馬小学校に通う児童全員が『有馬小学校は、楽しいよ。有馬小学校でよかった。』と思えるように。大人になった時に『先生やみんなに会いたい』と思ってもらえるように・・・。」ということ。これは、自分自身が学級担任をしている時から全く変わらない強い想いです。先日、私が担任をした学年の卒業生たちが「卒業した小学校で迎える30才の会」という企画をし、久々に会いました。その会では、小学校の時に私に怒られたこと、私も含めクラス全員で泣きながら話し合ったこと、楽しかったことなど、たくさんのお話をすることができました。みんな30才を迎えて、社会の荒波に揉まれながらも、とてもたくましく、とても素敵な大人になっていました。

改めて、今、目の前に居る有馬小学校の子ども達が、充実した6年間を送ることができるようになるということ。素敵な大人になるための土台をしっかりと作りあげること。教師として、子ども達を導いていく者として、その責任の大きさを心に留めています。

4月、子ども達にとっては、新たな出会い、新たな出発の時でもあり、どんな先生やどんな友だちと出会えるか、期待を膨らませているはずです。その期待に応えるべく、本校の教育目標「自ら学ぶ子」「思いやりのある子」「心と体の健康な子」を目指し、一人ひとりが生き生きと個性を発揮し、自分のよさや可能性を発見できるように頑張ります。

保護者、地域の皆様、本年度も一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

### 4月の生活目標

「学校のきまりをまもろう」

学校で楽しく、安全に生活するために、1人ひとりがしっかりときまりを守りましょう。

### 4月の保健目標

「手洗い・うがいをしっかりしよう」

ご飯を食べる前、外から帰ってきたときなど、自分の健康を守るためにも隅々まで手を洗うようにしましょう。

### 4月の安全指導目標

低「通学路を知る」

中「安全な登下校の仕方を知る」

高「登下校の安全を守り、下級生のお手伝いをする」